



ZOO

動物園の仲間たち

●ケヅメリクガメ（リクガメ科）

ケヅメリクガメは、アフリカ大陸中部の砂漠やサバンナに生息しています。尾の付け根にギザギザの蹴爪状の突起があるのが特徴で、名前の由来にもなっています。

五月山動物園では、昨年から飼育を開始した「ニューフェース」で、まだ生後1年の子どもです。現在は甲長（甲羅の長さ）約9センチ、体重210グラムと手のひらに乗る大きさですが、なんと4〜5年で甲長40〜50センチ、体重50キログラム以上に成長します。それもそのはず、ケヅメリクガメはアフリカ大陸最大にして、世界で3番目に大きなリクガメで、甲長80センチ以上、体重100キログラムの記録が確認されています。何を食べてそんなに大きくなるのかというと、草食性で野生では多肉植物を採食し、動物園では小松菜やいろいろな種類の野草を与えています。その食べっぷりは、「大食漢」と呼ぶのにふさわしいものです。

アフリカの厳しい気候に適應するため、地中に巣穴を掘って生活しており、穴を掘りやすいように前足が発達しているのも特徴です。「穴掘りが得意」とは、本市のシンボルである「ウォンパット」と共通していますね。現在は、「ふれあい広場」内に展示していますので、「未来の大物」にぜひ会いに来てください。

広報誌が届かなかったら…

『広報いけだ』は毎月1回1日発行です。発行日の正午までに広報誌が届かない場合は、宅配委託社・㈱リビングプロシード（フリーダイヤル☎0120・679・355）へ。



古紙配合率100%再生紙を使用しています